

# 台帳整備及び施設点検の実施状況の 調査結果について(速報)

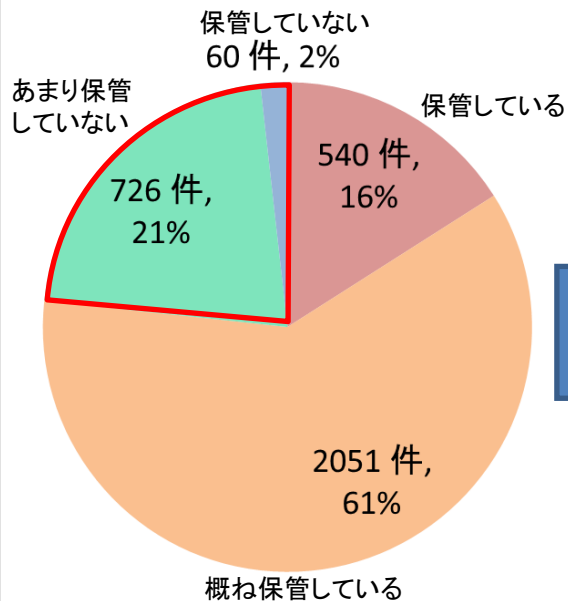
# アンケート調査概要

- 調査対象・・・合計7,372事業者
  - 内訳 上水道事業者 (1,388)
  - 水道用水供給事業者 (94)
  - 簡易水道事業者 (5,890)
- アンケート期間・・・9/2～10/3
- 回答数・・・合計3,377事業者 (10月19日時点)
  - 内訳 上水道事業者 (1,274)
  - 水道用水供給事業者 (84)
  - 簡易水道事業者 (2,019)
- 調査内容・・・各水道事業者における水道施設データの保管・整理の状況や点検を行っているか、また、その点検内容などについて調査したもの。  
調査結果の概要は次項以降のとおり。

# 水道事業者の水道施設データの保管状況について

- 水道施設の維持管理や更新計画の検討に必要なとなる施設の構造、規模、数量、竣工日等のデータについては、約8割の事業者が、「保管」又は「概ね保管」している。
- 一方で、保管していない事業者では、
  - ①管路では、修繕状況、工事費、図面、布設年度などが不明な場合が多い。
  - ②施設では、修理情報、工事費、図面、完成年月日などが不明な場合が多い。

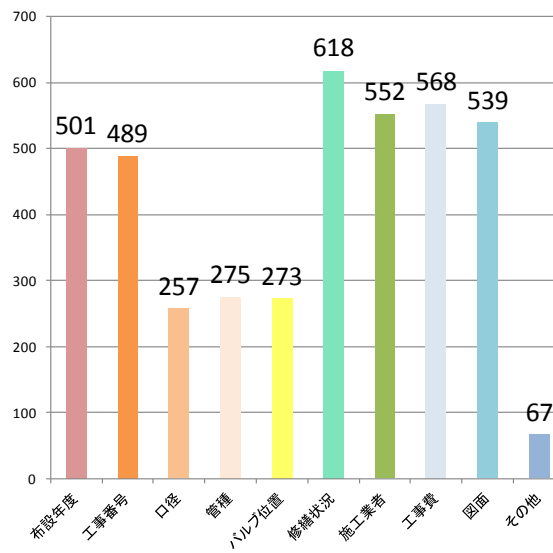
○データの保管状況(全体)



内訳

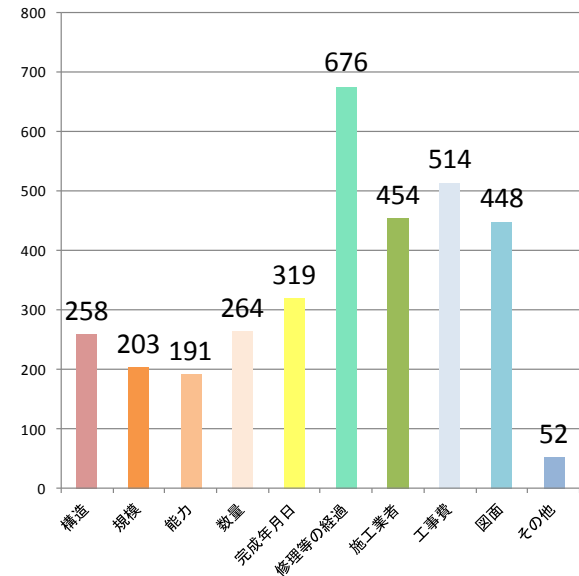
「あまり保管していない」「保管していない」を選んだ事業者が約23%。

○管路データで不足している主たるデータ



管路の修繕状況、工事費、図面、布設年度などのデータが保管されていない。

○施設データで不足している主たるデータ

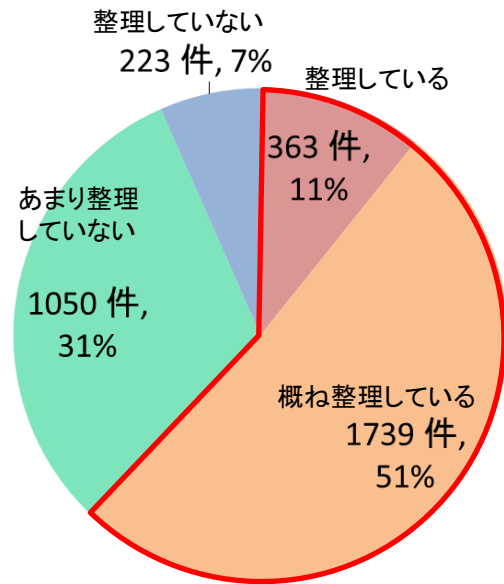


修理情報、工事費、図面、完成年月日などのデータが保管されていない。 3

# 水道事業者の水道施設データの整理状況について

- 水道事業者全体の約6割は水道施設のデータを整理しており、台帳整備がされている状況といえる。
- 上水道事業では、約7割がデータを整理しており、簡易水道事業では約5割が整理しているにとどまり、上水道事業に比べて遅れている状況。
- 台帳のデータが不足している場合の主たる理由は、「全てのデータが保管してあるか不明」「市町村合併や事業統合で過去のデータが揃わない」などである。（上水道事業、簡易水道事業に共通）

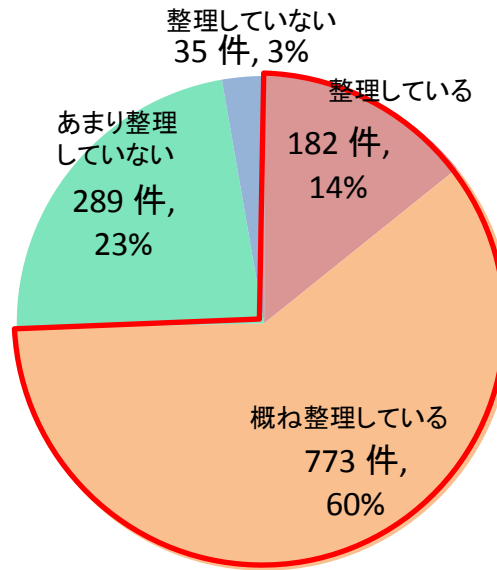
○データの整理状況(全体)



約62%の事業者が、必要データが検索できるようにデータを整理している。

台帳整備率6割

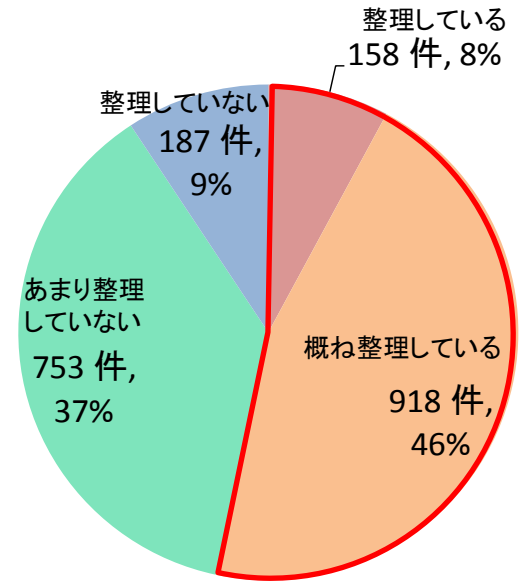
○上水道事業者の整理状況



上水道事業者のうち、約74%はデータを「整理」「概ね整理」しているを選択。

上水道事業者の台帳整備率7割

○簡易水道事業者の整理状況



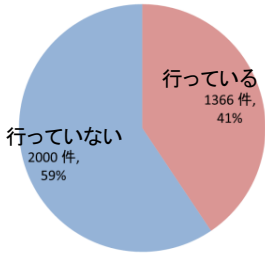
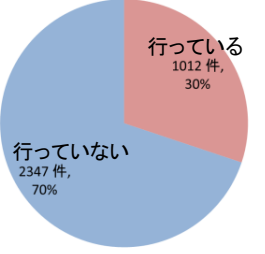
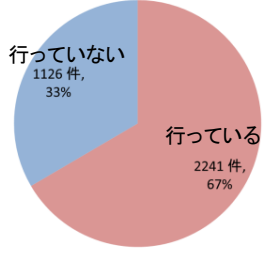
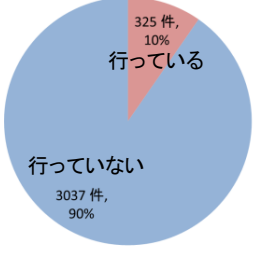
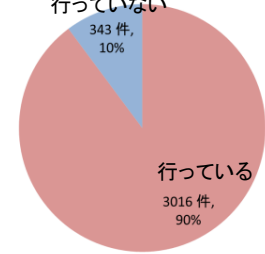
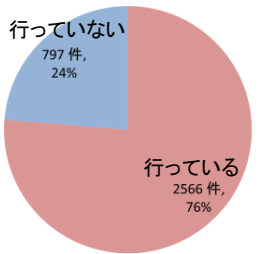
簡易水道事業者のうち、約半数の46%はデータをあまり整理していない状況

簡易水道事業者の台帳整備率5割

内訳

# 水道施設の点検の実態について

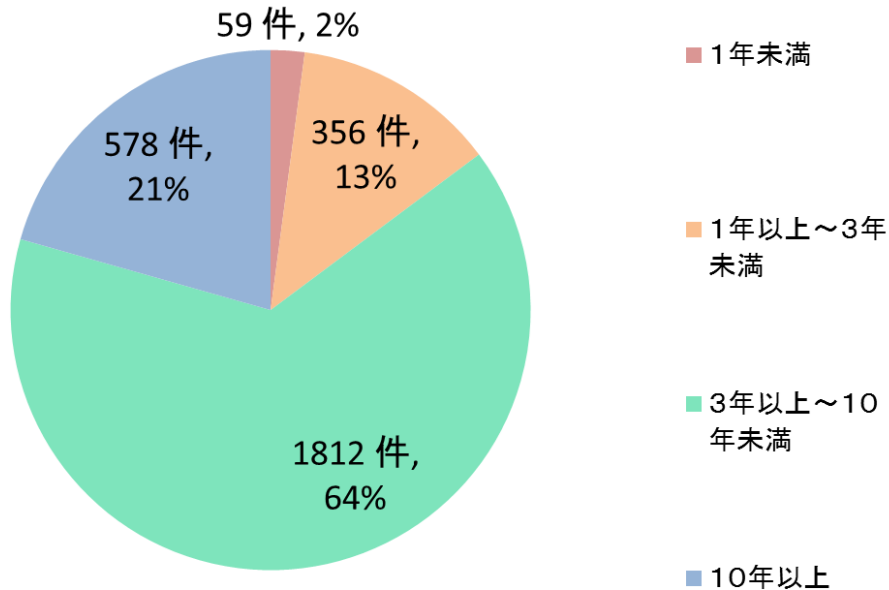
- 日常点検の実施率は、管路が約4割、コンクリート構造物が約7割、機械・電気・計装設備が約9割。
- 定期点検の実施率は、管路が約3割、コンクリート構造物が約1割、機械・電気・計装設備が約8割。

	日常点検	定期点検
管路	 <p>【実施事例】                      ○ルート上の目視による漏水調査                      ○弁類等の開閉確認                      ○水管橋・道路橋添架管の目視調査</p>	 <p>【実施事例】                      ○漏水・音聴調査                      ○大口径仕切弁・空気弁の清掃点検                      ○定期洗管</p>
コンクリート構造物	 <p>【実施事例】                      ○巡視時の目視点検</p>	 <p>【実施事例】                      ○目視点検とテストハンマやクラックスケールを併用した検査                      ○潜水業者による点検                      ○配水池から水を抜き内部点検                      ○配筋探査、圧縮強度試験及び中性化試験</p>
機械電気計装設備	 <p>【実施事例】                      ○減圧弁、流量計などの目視点検                      ○異音、振動、臭い、熱などの点検                      ○テレメータによる遠隔常時監視</p>	 <p>【実施事例】                      ○ポンプ設備、電気設備、次亜注入設備等の保守点検                      ○絶縁抵抗、保護継電器特性試験、水質計器点検                      ○ポンプのグリスアップ</p>

# 水道施設の点検結果の保存状況及び健全度の評価

- 定期点検の結果については、約8割の水道事業者が3年以上の期間にわたり保存している。
- また、点検結果に基づき、施設の状態の把握や健全度の評価を約4割の事業者が実施している。

○定期点検結果の保管期間(全体)



○施設の状態把握や健全度の評価の実施(全体)

